

事業所名 にここに(放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日 R7 年 3 月 28 日

法人(事業所)理念		認定NPO法人活き生きネットワーク (私たちは、高齢者、障害者、乳幼児をはじめあらゆる方々が「活き活きと生きる」ための活動を行っています。)		
支援方針		笑顔いっぱいの日々を過ごせるようひとりひとりに寄り添った支援をいたします。		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし 要相談
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	学校での様子・家庭での様子を共有して、日々の体調変化を見逃さない様に関り安定して通所出来る様心掛ける。 医療的ケア児など、特別配慮が必要な児童には、排痰ケアや酸素吸入、胃ろう注入などしていきます。どうしても入浴が必要な児童には、入浴を提供(応相談)していきます。 心身ともにリラックスして、安心して過ごせるよう環境づくりに留意する。		
	運動・感覚	季節の行事やイベントなどにも、障害の特性に合わせた安楽な姿勢で、様々なポジショニングをして参加していきます。 近隣の公園・図書館などにも出掛け、変わりゆく季節を感じられるようにしていきます。暖かい日にはマットの上で日光浴など楽しみます 朝の会や、昼食後、学校帰りなど疲れている時には、リラックス出来る様、マッサージや・体操をゆったりとおこないます。 感触・触感を感じられるような遊びや、おやつ作りなどで五感を感じられる様はたらしかけます。		
	認知・行動	活動を通して、今やっている事がこの後どうなるか見通しを立てておこなっていく。 児童発達支援の児童や、生活介護の利用者と一緒に活動する時には、年下の子へ順番を譲ったり出来る様にしていく。 排泄の有無など、自分なりの表現で表出出来るよう関わり合う。 生活介護の先輩たちを見て、卒業後の生活をイメージしてもらう。		
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを伝えられる様、表情・動作・発声などを通じて自分なりの表現していく。 学校での様子も共有をして、支援者も受け止められる様サインを見逃さない様にしていきます。 仲間にも自分の気持ちが伝わる様、時にはスタッフが間に入り伝えていきます。 コミュニケーションの様子を、スタッフ間でも共有して関りにつなげる。		
	人間関係 社会性	顔なじみのスタッフや利用児・者と、沢山ふれあい信頼関係を構築して、安心できる場所にしていきます。 法人の様々な利用児・者・スタッフと関わる事で、自分を知っている人を増やしていきます。 近隣の住民とも関りをもてる様、地域行事や法人の全体行事等に参加をしていきます。		
家族支援	緊急時の受け入れ、家族兄弟の行事等、柔軟な対応延長等相談をしながら行います。家族の抱えている問題など、個人情報に気をつけ、ワンストップせず、相談員や関係機関と情報共有をして一緒に考えていきます。	移行支援	卒業後の進路に向けての相談、他事業所の情報提供等していきます。障害の有無に関係なく、地域住民との関りを持ち、地域に溶け込める様心掛けます。	
地域支援・地域連携	近隣学校の各種イベントへの参加や、放課後等デイサービスとの交流等を通じて、地域との連携を図ります。クラファンやSNSを活用して、普段の様子や催し物などを発信していきます。	職員の質の向上	事業所内のミーティング定期的な研修や、嘱託医からの指導等常時研修を行います。外部研修にも参加をしていきます。外部より専門職(リハビリ等)の講師を招き、個々人にあった関わり方について学んでいきます。	
主な行事等	季節に合わせた行事、正月・節分・ひな祭り・夏祭り・クリスマス会・誕生日会・進級・進学を祝う会など開催していきます。毎回趣向を変え、楽しめる様提案していきます。行事に向けて、準備の段階から利用児と一緒に進めていきます。行事終了後には振り返りをして次回開催時参考にしていきます。 法人全体で行うフリーマーケットや、運動会・クリスマス会等、家族単位での参加が出来る為お誘いしていきます。			